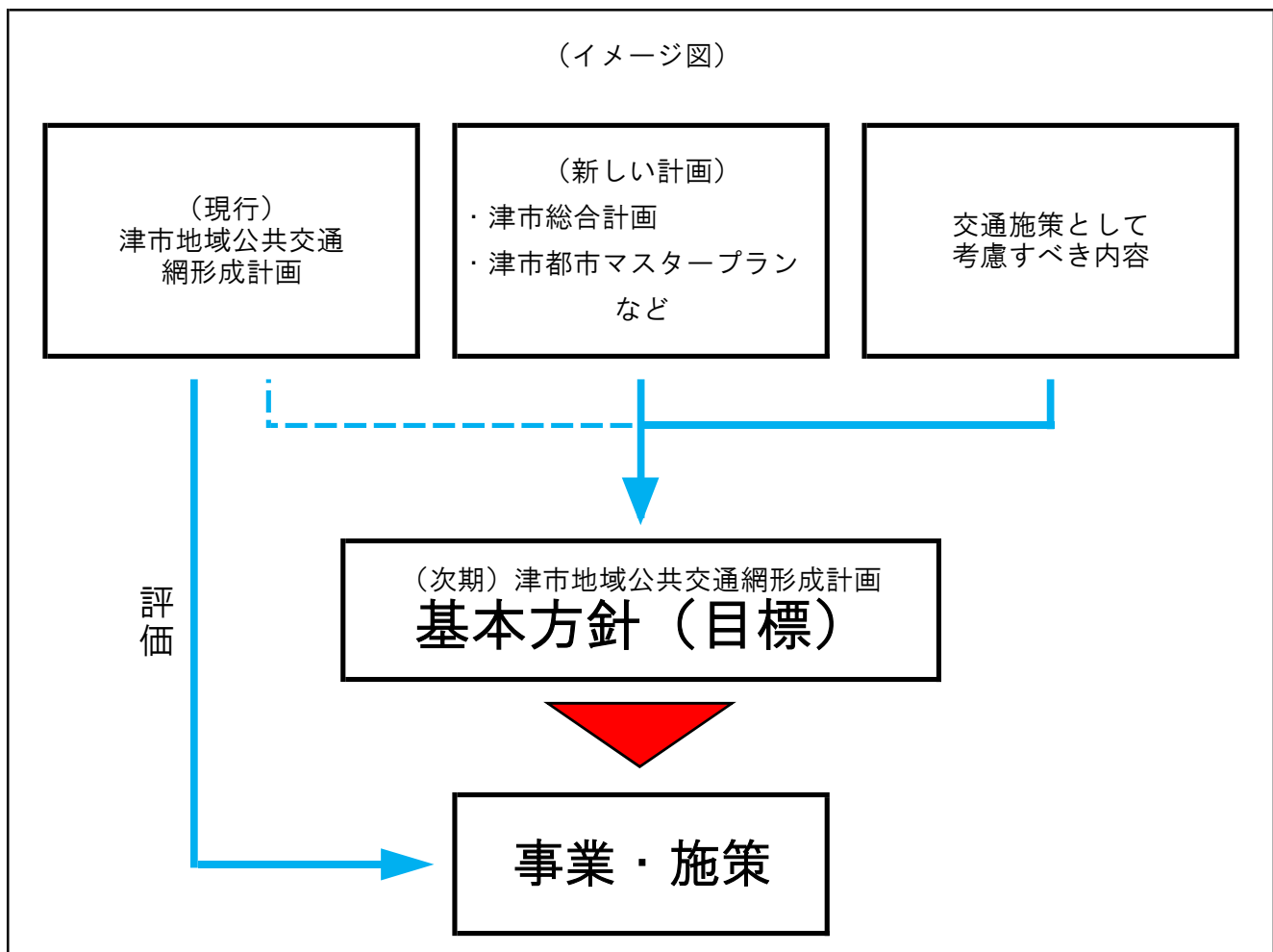


(次期) 津市地域公共交通網形成計画の策定について

1 計画(案)の作成

- ① 現行計画、新しく策定された他の計画、交通施策として考慮すべき内容を踏まえて基本方針(目標)を設定
- ② (現行)津市地域公共交通網形成計画の評価を実施
- ③ ①で設定した基本方針(目標)を達成するため、②の評価結果を踏まえて実施すべき事業・施策を決定する。



2 計画(案)作成後の手続き

- ① 市議会への報告
- ② パブリックコメント(1ヶ月程度)

津市地域公共交通網形成計画 最終評価シート

基本方針1：地域をつなぎ、住みやすいまちづくりを実現する公共交通ネットワークの構築

【目標1-1】広域での移動を確保する

数値目標	中間目標値	中間実績値（H28）	31年度までの方向性	最終目標値	最終実績値（H30）
①「幹線」と位置付けるバス路線の利用者数	2,249,500 人/年	2,171,357 人/年	<ul style="list-style-type: none"> 単年に年度単位での利用者数を比較するのではなく、人口減少率も考慮すべき。 	2,249,500 人/年	人/年
②市内の鉄道の乗降者数	17,067,300 人/年	17,583,573 人/年		17,067,300 人/年	人/年
施策	中間評価		31年度までの方向性	最終評価	
①幹線の整備と運行	<ul style="list-style-type: none"> バスロケーションシステムを導入できたことは、高評価である。 利用促進の活動が弱かった。 大型商業施設、公共施設への乗り入れについては、動線を計画する中で考慮すべきである。 		<ul style="list-style-type: none"> バスロケーションシステムは既に完成している。 新規施設への乗り入れについては、計画段階から連携を図る。 	(例) <ul style="list-style-type: none"> 幹線システムの維持・利用促進に努めてきたが、国庫補助の要件である1日当たり輸送量15人を割り込む恐れのある路線が出てきている。 津市コミュニティバスについて、旧行政界にとられない路線の検討に着手した。 三重県道路交通渋滞対策推進協議会を通じて、関係機関による情報共有を図れている。 イオンモール津南への三重交通バスの乗り入れが実現し、利用者の増加に繋がった。 三重交通（株）において、バスロケーションシステムを導入することができた。 	
②乗継設定と待合環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道との乗継については、コミュニティバスのダイヤを鉄道の時刻に合わせて見直しているので評価できる。 JR名松線沿線におけるパークアンドライドの取組みは評価できるが、取組が目立っていない点が残念である。 		<ul style="list-style-type: none"> 鉄道とのスムーズな乗継を行えるよう取組を継続する。 パークアンドライドについても積極的にPRを行っていく。 		
③隣接自治体との連携	<ul style="list-style-type: none"> 三重県生活交通確保維持対策協議会による隣接自治体との連携については評価するが、機会を限定せず、場合によっては直接連携を図ることが望ましい。 		<ul style="list-style-type: none"> 三重県生活交通確保維持対策協議会などの団体組織だけでなく、直接連携も図る。 		
④鉄道の利便性向上のための要請と利用促進	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道会社に対し、ダイヤの改正や増便、利便性の向上に資する施設設備等の要請要望活動を行っているが、反映されているかが分からない。 リニア中央新幹線の三重・奈良ルートによる早期の全線開業の要請については、あまりにも大きい話で漠然としすぎている。 		<ul style="list-style-type: none"> 三重県鉄道網整備促進期成同盟会やリニア中央新幹線の団体組織については、より具体性のある取組となるよう要望していく。 		

【目標1-2】日常生活における地域移動を確保する

数値目標	中間目標値	中間実績値（H28）	31年度までの方向性	最終目標値	最終実績値（H30）
①「支線」と位置付けるバス路線の利用者数	2,080,200 人/年	1,714,702 人/年	・単純に年度単位での利用者数を比較するのではなく、人口減少率も考慮すべき。	2,080,200 人/年	人/年
施策	中間評価		31年度までの方向性	最終評価	
①三重交通バス路線の整備と運行	<ul style="list-style-type: none"> ・バスロケーションシステムを導入できたことは、高評価である。 ・乗継が悪いため、利用者ニーズについて継続して把握し、分析を行う必要がある。 ・三重交通と津市コミュニティバスとの調整はされているものの、分かりにくい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズの把握を行う。 ・幹線と津市コミュニティバスが連携していることを分かりやすく。 ・利用方法について提案する「わたしの時刻表」を活用し、ダイヤの啓発を行う。 		
②津市自主運行バス（廃止代替バス）の見直しへの着手	<ul style="list-style-type: none"> ・人口も減ってきている。 ・廃止代替バスは、利用者1人あたり500円から1,000円程度の行政負担が通例。 ・安濃線においては、実情に応じた運行変更を行っている。 ・名張奥津線は特に実績が悪化しており、維持経費が高すぎるので、他の手段を検討すべき。 		<ul style="list-style-type: none"> ・1人当たり費用などの観点を含んだ、廃止代替の制度からの転換を考える仕組みが必要。 		
③津市コミュニティバスの整備と運行	<ul style="list-style-type: none"> ・整備と運行については、良い。 ・時刻等運行変更は評価できる。 ・まだ、一部で不自由しているという意見も聞く。 ・バスとSTSサービスの役割分担をする必要がある。 <p>※STSサービスとは、乗合バスやタクシー等の従来の公共交通機関を利用できない移動制約者に個別的な輸送を提供する交通サービス</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・整備と運行は進んできているので、利用促進を図る。 		

【目標1-3】観光振興との連携による交流人口の拡大

数値目標	中間目標値	中間実績値（H28）	31年度までの方向性	最終目標値	最終実績値（H30）
①津市への観光入込客数	2,784,200 人/年	2,649,646 人/年 (4,220,241)	<ul style="list-style-type: none"> 単純に年度単位での利用者数を比較するのではなく、人口減少率も考慮すべき。 	2,811,500 人/年	人/年
②観光目的での津エアポートライン利用者数	18,600 人/年	19,262 人/年		21,300 人/年	人/年
施策	中間評価		31年度までの方向性	最終評価	
①公共交通を利用した観光振興への取組	<ul style="list-style-type: none"> 高速船とリムジンバスの取組などは評価できる。 三重交通路線で観光地案内がないので、不親切である。 そもそも、観光地や祭りの情報がない。 高田本山など名勝があるにもかかわらず、広報をしていない。 住民も観光価値を正確にわかっていない。 観光への関心が少なかった。 観光所管課がしっかりとした観光計画を作成すべき。 ウォーキングは時々見る。 		<ul style="list-style-type: none"> 観光地そのものが前面に出てくるような取組を行っていく。 小さな地元のイベントでよいので、独自の特色を示すようにする。 駅ウォーキングイベントを他の開催されていないところにも設定していく。 名松線のウォークも再掲という形でよいので、こちらへ含めていく。 モデルコースを設定し、周知を図る。 外国語の対応を進める。 海上アクセスは、特にインバウンドへの対応を図る。 		
②海上アクセス利用促進事業	<ul style="list-style-type: none"> イベントもたくさん行っており、一生懸命にやっている。 		<ul style="list-style-type: none"> 現在実施している事業を継続していく。 		
③JR名松線利活用事業	<ul style="list-style-type: none"> 頑張っている気持ちが伝わってくる。 美杉地域への思いが伝わってくる。 		<ul style="list-style-type: none"> 「列車に乗ること自体が目的」という方向性で、田舎・古さなどを発信していく。 		

基本方針2：地域の特性に応じた利便性の高いコミュニティ交通の実現

【目標2-1】交通不便地における移動手段を確保する

数値目標	中間目標値	中間実績値（H28）	31年度までの方向性	最終目標値	最終実績値（H30）
①地域住民運営主体型の公共交通の導入協議箇所数	10件	5件	・最終目標値を達成できるよう、事業のPRを継続していく。	15件	件
施策	中間評価		31年度までの方向性	最終評価	
①地域住民運営主体型コミュニティ交通事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会が音頭を取って乗合タクシー事業を立ち上げた上で、事業を継続してきたことや、新たな地域に導入できたことは評価できる。 ・乗合タクシーの登録者は、近い将来の利用を見込んで登録していると聞いている。元気なうちに、乗合タクシーやバス等を使う習慣をつけるとよい。 ・乗り合い免許を要しない形態にすれば、より多くのタクシー事業者が参入できるのではないかと。 ・タクシーが公共交通であるという認識がなされるようになって日が浅いが、これからは、タクシーが他の公共交通と同様に、移動手段としての選択肢の一つとなり得る。 ・総合的に判断して、最低限のことはできていると思われる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・高松山団地、二俣地区、上佐田地区で実施されている乗り合い事業への支援を継続しつつ、よりよい運行となるよう、制度の改善策を検討していく。 ・新たに導入円滑化が図られることとなった公共交通空白地有償運送（市町村やNPO法人が自家用車を使用して地域住民を有償で運送する制度）の導入に向けた検討を行う。 ・国の制度改正等があった際は、運行効率の良い新たな形態の有償運送事業の導入について検討する。 		

【目標2-2】 地域を越えた移動手段を確保する

数値目標	中間目標値	中間実績値（H28）	31年度までの方向性	最終目標値	最終実績値（H30）
①「支線」における地域をまたいだ路線の利用者数	16,500 人/年	12,893 人/年	・最終目標値を達成できるよう、路線の変更を検討していく。	17,000 人/年	人/年
施策	中間評価		31年度までの方向性	最終評価	
①津市コミュニティバスの整備と運行（再掲）	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスの運行については、停留所の設置や、ルート延伸など、市内全域にわたり、細かく丁寧に取り組んでおり、評価できる。 ・高齢者は、バス停が遠いと利用が億劫となる。より、きめ細やかにバス停の配置ができれば、より利用しやすくなるのではないかと。（その反面、距離が伸びて時間がかかるといった側面もある。） ・利用者の立場で、需要に応じた施策を実施すれば、より活性化するのではないかと。 ・地域をつなぐコミュニティバス同士のダイヤ設定については、相互の連絡設定が考慮されており、評価できる。 ・コミュニティバスで市の中心部と地域拠点を接続すると、民間との競争になるので、地域拠点同士の接続を検討していくべきである。 ・国の制度改正により、自家用有償運送の規制が緩和され、市町村有償運送で「区域運送」などが実施できるようになったことは、よい傾向である。 		<ul style="list-style-type: none"> ・市町村が主体となる自家用有償運送の活用に向け、路線を定めず旅客の需要に応じて運行する「区域運行」が可能となったことから、新たな形態のコミュニティバスの導入に向けた検討を行う。 ・地域をつなぐコミュニティバスの運行については、地域の実情に応じたものとなるよう、民間事業者と路線が競合しない範囲で導入を検討していく。 		
②乗継環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・パーク＆ライドや、レンタサイクルについて、JR名松線の一部の駅だけでなく、ほかの駅へ広げていければよいのではないかと。 ・より一層の利用を促進するために、従来の視点にこだわらず、楽しく待てる、新たな乗り継ぎ拠点の確保も検討していくべきである。（例）サオリーナ、公民館など 		<ul style="list-style-type: none"> ・乗継拠点については、利用者の利便性に配慮し、鉄道駅、総合支所、スーパー、病院などを活用していくこととし、新たに施設ができた際は、路線変更だけでなく、乗継拠点としての利用についても検討する。 		

基本方針3：公共交通サービスをサポートし、利用促進につながる交通体系の実現

【目標3-1】公共交通に対する市民意識の向上を図る

数値目標	中間目標値	中間実績値（H28）	31年度までの方向性	最終目標値	最終実績値（H30）
①モビリティマネジメント・啓発イベント等の開催数	6回/年	6回/年	・最終目標値を達成できるよう、費用がかからない形での開催を模索していく。	8回/年	6回/年
施策	中間評価		31年度までの方向性	最終評価	
①広報誌による意識啓発・利用促進PR	<ul style="list-style-type: none"> ・市の広報への掲載については評価するが、興味のある部分しか読まない市民も多いのではないかと懸念される。 ・現状はバスの日に合わせた年1回の掲載であるが、バスの日に限定する必要は無いのではないかと。 		<ul style="list-style-type: none"> ・バスの日に限らず、年間を通じた掲載を検討していく。 ・バスの魅力を発信できるような記事の内容を検討していく。 		
②わかりやすい路線・時刻表情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・三重交通バス、津市コミュニティバス共に「見える化」を実施したことは評価できるが、限られたコンテンツプロバイダのみの対応であるため、より多くのコンテンツプロバイダが対応することを期待する。 ・バスロケーションシステムが多くの方に利用されている点は評価できる。 ・「わたしの時刻表」は新しい取組であり、評価できる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「わたしの時刻表」の取組を継続しつつ、取組を広報等により周知していく。 		
③モビリティマネジメントの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを利用したモビリティマネジメントシステムの作成については評価できるが、利用者が伸び悩んでいる点が残念である。 		<ul style="list-style-type: none"> ・モビリティマネジメントシステムをより多くの方に利用していただくよう、広報活動を継続していく。 ・モビリティマネジメントシステムのリンク設定を関係団体や企業に働きかけていく。 ・イベント時にシステムの利用を働きかけていく。 		
④利用促進イベントの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの乗り方教室、津まつりでのブース出展、バスの日の津駅前街頭啓発、みえ交通安全・環境フェスタ、こんなにあるんだ三重の鉄道展など、たくさんのイベントを実施されていることを評価する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・利用促進イベントを継続しつつ、より効果的なイベントとなるよう、内容を改善していく。 ・高齢者を対象としたバスの乗り方教室の実施を検討していく。 		

【目標3-2】高齢者の外出意欲の増進

数値目標	中間目標値	中間実績値（H28）	31年度までの方向性	最終目標値	最終実績値（H30）
①低床バスの導入率	63%	70%	<ul style="list-style-type: none"> 既に最終目標値を達成しているため、1%でも導入率が向上するよう、低床バスの導入を継続していく。 	70%	79%
施策	中間評価		31年度までの方向性	最終評価	
①高齢者に特化した割引制度や設備等の検討	<ul style="list-style-type: none"> 限られた財政状況の中、低床バスの導入率が中間目標値を大きく上回った点は評価できる。 セーフティバスは内容が充実し、高齢者等にとっては非常にありがたい制度であるが、制度を知らない方が多いことが懸念される。 運転免許返納割引制度、シルバーエミカにも期待したいが、山間部の方が距離制運賃を支払う場合には、年間2,000ポイントでは物足りないと感じるのではないか。 		<ul style="list-style-type: none"> セーフティバス、運転免許返納割引制度、シルバーエミカの利用者が増えるよう、周知活動を継続していく。 		

基本方針4：持続可能な交通サービスが提供できる交通体系の実現とPDCAサイクルの確立

【目標4-1】市民や関係者が目標の共有を図る

数値目標	中間目標値	中間実績値（H27）	31年度までの方向性	最終目標値	最終実績値（H29）
①公共交通全体の利用者数	21,675,000 人/年	22,070,536 人/年	・利用者数は増加傾向にあるため、最終目標値の達成を目指す。	21,678,800 人/年	人/年
施策	中間評価		31年度までの方向性	最終評価	
①PDCAサイクル確立のための基準づくり	・津市地域公共交通網形成計画の中間評価について、分科会を設置し、様々な意見を吸い上げるなどの取組は評価できる。		・今回の中間評価終了後、評価の方法等を検証し、計画の最終評価に活かす（分科会の継続）。		
②中間年度・最終年度における評価指標の達成度評価（ニーズ調査）	・アンケートの回収率が3割を超えた点、市外居住者からも回答を得られた点が評価できる。		・最終年度には、今回の満足度を上回れるよう、各施策の取組を進めていく。		
③改善案の策定と路線の運行体系の見直し					

基本方針5：市民、交通事業者、行政の協働による仕組みづくり

【目標5-1】交通を担う人材を確保し育てる

数値目標	中間目標値	中間実績値（H28）	31年度までの方向性	最終目標値	最終実績値（H30）
①地域あり方検討会等の地域が主体となった会議の開催数	30 回	25 回	・最終目標値を達成できるよう、公共交通に関する会議の開催回数を増やしていく。	38 回	21 回
施策	中間評価		31年度までの方向性	最終評価	
①地域公共交通あり方検討会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が中心となり、公共交通を自主運営していくために、人材確保は最も難しい課題の一つである。 ・地域の公共交通の確保については、市役所に任せておけばよいという風潮があり、意識改革が必要である。 ・地域公共交通あり方検討会等の開催回数は減っているが、自治会等との個別協議が増え、協議内容が充実してきていることは評価できる。 ・地域懇談会において、公共交通に関する話題も多く議論されており、これらの対応も含めて、評価できる。 ・バスに関する意見、要望については、実際にバスに乗ったことがない人や、バスを必要としていない人からの意見が多く、利用者の意見が反映されにくい。利用者の意見をいかに吸い上げるかが課題である。 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通あり方検討会、地域住民運営主体型コミュニティ交通事業運営委員会、公共交通に係る市民団体との協議、自治会等との個別協議、地域懇談会などで議論された内容について、出された意見・要望を地域公共交通活性化協議会にフィードバックしたうえで、様々な意見を集約し、運行改善等に取り組む。 		
①地域公共交通あり方検討会の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が中心となり、公共交通を自主運営していくために、人材確保は最も難しい課題の一つである。 ・地域の公共交通の確保については、市役所に任せておけばよいという風潮があり、意識改革が必要である。 ・地域公共交通あり方検討会等の開催回数は減っているが、自治会等との個別協議が増え、協議内容が充実してきていることは評価できる。 ・地域懇談会において、公共交通に関する話題も多く議論されており、これらの対応も含めて、評価できる。 ・バスに関する意見、要望については、実際にバスに乗ったことがない人や、バスを必要としていない人からの意見が多く、利用者の意見が反映されにくい。利用者の意見をいかに吸い上げるかが課題である。 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通あり方検討会、地域住民運営主体型コミュニティ交通事業運営委員会、公共交通に係る市民団体との協議、自治会等との個別協議、地域懇談会などで議論された内容について、出された意見・要望を地域公共交通活性化協議会にフィードバックしたうえで、様々な意見を集約し、運行改善等に取り組む。 		

津市地域公共交通網形成計画 取組状況表

基本方針1：地域をつなぎ、住みやすいまちづくりを実現する公共交通ネットワークの構築

【目標1-1】広域での移動を確保する

事業・施策	平成29年度までの取組状況	平成30年度からの取組状況
①幹線の整備と運行 (1)幹線システムの維持・利用促進	○輸送量が15人を下回ると、国の補助金対象から外れてしまう。 →幹線に接続する支線も補助対象外となるため、注意が必要。 【輸送量が少ない幹線】 (平成28年度実績) ・津太陽の街線 15.5人 ・穴倉線 15.6人 ・榊原(稲葉)線 18.3人 ・亀山棕本線 18.6人 ○廃止代替バスの新規運行 幹線維持のため、榊原線の一部(榊原車庫前～榊原温泉口駅)を廃止代替バスとした。 ・運行開始日 平成29年4月1日 ・委託料 1,383,480円/年(平成29年度実績)	○輸送量が15人を下回ると、国の補助金対象から外れてしまう。 →幹線に接続する支線も補助対象外となるため、注意が必要。 【輸送量が少ない幹線】 (平成30年度実績) ・津太陽の街線 15.2人 ・穴倉線 15.6人 ・榊原(稲葉)線 21.4人 ・亀山棕本線 16.7人 ○廃止代替バスのコミュニティバス化に係る協議 利用者数の少ない路線について、デマンド型交通を含めたコミュニティバス化について地域と協議した。 ・対象路線 榊原線の一部(榊原車庫前～榊原温泉口駅) ・協議回数 7回(H29.5～H30.9) ・協議結果 観光振興(榊原温泉)の観点から当面の間は廃止代替バスとしての運行を継続することとなった。(事務局では今後も榊原ルートと共に路線のあり方について検討していく。)
①幹線の整備と運行 (2)新たな幹線システム構築検討への着手		○地域(市内の旧行政界)にとられない路線について、事務局にてたたき台を作成中。
①幹線の整備と運行 (3)定時性確保のための道路状況改善(ラッシュ時間帯の渋滞緩和)	○三重交通 ・車両のバリアフリー化による乗降時間の短縮 ・ICカード導入による精算時間の短縮 ・信号機についての要望書提出 ○三重県 ・道路交通全般について、円滑な交通網の整備に努めている。 ・道路工事の際は、通勤時間帯を避けて9時～16時に作業するよう指導している。 ・各種道路工事を同時期に実施することにより、交通制限期間の短縮に努めている。 ○津市 ・道路工事の際は、通勤時間帯を避けて9時～17時に作業するよう指導している。	○平成29年度までの取組を継続 ○三重県道路交通渋滞対策推進協議会津エリア交通円滑化ワーキンググループでの情報共有 設立：平成26年11月 目的：道路交通渋滞を解消し、円滑な道路交通の確保に寄与する 基本方針：『津中心市街地や旧久居市街地に集中する通勤交通の経路分散を図り、渋滞を迂回した交通の生活道路への流入抑制及びバスの定時性を確保するために、国道23号線中勢バイパス・(-)上浜高茶屋久居線等の整備を進めます。また、津市地域公共交通網形成計画と連携して公共交通利用促進を図るなど、ソフト・ハードを含めた対策を検討・実施します。』 構成：国土交通省中部地方整備局、中部運輸局、三重県警察、三重県、津市、三重県トラック協会、三重県バス協会、三重県タクシー協会、津商工会議所
①幹線の整備と運行 (4)国道23号中勢バイパスの開通に向けたバス路線網の改編	・沿線に民家が少なく交通渋滞も多いことから、新たな路線を引く計画は無いが、鈴鹿市と津市を短時間で繋ぐなどの要望があれば検討していく。	変更なし

利用促進

(三重交通)

- ・バス車内に「乗って残そう～」のポスター掲示
- ・時刻表に国の補助金が入っている旨を記載
- ・要望に応じたダイヤ改正

(津市)

- ・鈴鹿大学に利用促進のチラシを設置

<p>①幹線の整備と運行 (5)大型商業施設、公共施設への乗り入れ</p>	<p>○既存の乗り入れ先施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イオン津店 ・ポルタ久居 ・三重県身体障害者総合福祉センター ・三重大学病院 ・サンバレー（工事中） ・七栗記念病院 ・三重県総合文化センター ・三重中央医療センター <p>○新たな乗り入れ先施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅かわげ（平成28年4月～） ・津市産業スポーツセンター（平成29年10月～） <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの商業施設については、近隣に停留所を設置している。 ・片田方面から、久居インターガーデンへの乗り入れについて要望あり。 	<p>○新たな乗り入れ先施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イオンモール津南（平成30年11月～） <p>○乗り入れではないが、以下の施設近くへの停留所新設を検討中</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おやつタウン ・アスルプラザ（久居ホール） 			
<p>①幹線の整備と運行 (6)バスロケーションシステムの導入（携帯電話型）</p>	<p>○導入実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四日市地域 平成25年4月～ ・津、鈴鹿、亀山地域 平成27年6月～ 				
<p>②乗継設定と待合環境の整備 (1)鉄道に合わせたコミュニティ交通のダイヤ設定</p>	<p>○一志地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成28年10月1日 ・対象路線 川合ルート、高岡ルート ・内容 近鉄川合高岡駅での接続に合わせ、運行ダイヤを変更した。 <p>○美杉地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成28年4月1日 ・対象路線 川上ルート ・内容 JR名松線に接続するため、伊勢鎌倉駅に停留所を新設した。 <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成28年7月23日 ・対象路線 川上ルート、丹生俣ルート ・内容 美杉地域への来客を重視した土日祝日ダイヤを設定した。 	<p>○河芸地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成30年10月1日 ・対象路線 河芸循環北ルート、河芸循環南ルート ・内容 千里駅、豊津上野駅での接続に合わせ、運行ダイヤを変更した。 <p>○一志地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成30年4月1日 ・対象路線 川合ルート、高岡ルート ・内容 近鉄川合高岡駅での接続に合わせ、運行ダイヤを変更した。 			
<p>②乗継設定と待合環境の整備 (2)鉄道駅とコミュニティ交通の乗継拠点の整理</p>	<p>○鉄道駅との乗継拠点</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>（近鉄）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近鉄久居駅 ・千里駅 ・豊津上野駅 ・川合高岡駅 ・伊勢石橋駅 ・榊原温泉口駅 </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>（JR名松線）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一志駅 ・関ノ宮駅 ・家城駅 ・伊勢竹原駅 ・伊勢鎌倉駅 ・伊勢八知駅 ・伊勢奥津駅 </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>（伊勢鉄道）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢上野駅 ・河芸駅 </td> </tr> </table>	<p>（近鉄）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近鉄久居駅 ・千里駅 ・豊津上野駅 ・川合高岡駅 ・伊勢石橋駅 ・榊原温泉口駅 	<p>（JR名松線）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一志駅 ・関ノ宮駅 ・家城駅 ・伊勢竹原駅 ・伊勢鎌倉駅 ・伊勢八知駅 ・伊勢奥津駅 	<p>（伊勢鉄道）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢上野駅 ・河芸駅 	<p>変更なし</p>
<p>（近鉄）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近鉄久居駅 ・千里駅 ・豊津上野駅 ・川合高岡駅 ・伊勢石橋駅 ・榊原温泉口駅 	<p>（JR名松線）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一志駅 ・関ノ宮駅 ・家城駅 ・伊勢竹原駅 ・伊勢鎌倉駅 ・伊勢八知駅 ・伊勢奥津駅 	<p>（伊勢鉄道）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢上野駅 ・河芸駅 			
<p>②乗継設定と待合環境の整備 (3)復旧後の名松線との連携</p>	<p>○パーク＆ライドの環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成27年7月21日 ・内容 一志庁舎南側駐車場 10台 白山庁舎内駐車場 6台 <p>○鉄道に合わせたダイヤ設定（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年4月1日 川上ルート ・平成28年7月23日 川上ルート、丹生俣ルート 	<p>変更なし</p>			

<p>③隣接自治体との連携 (1)より広域な移動を確保するための隣接自治体との意見交換の実施</p>	<p>○三重県生活交通確保維持対策協議会 地域別ワーキンググループ</p> <ul style="list-style-type: none"> 津市が参加する地域 (中勢地域) 松阪市、鈴鹿市、名張市、亀山市 (松阪地域) 伊勢市、松阪市、尾鷲市、熊野市、多気町、明和町、大台町、玉城町、大紀町、紀北町 (伊賀地域) 名張市、亀山市、伊賀市 効果 幹線の状況を把握することができ、隣接自治体が協力して幹線の利用促進に取り組むことに繋がる。 	<p>変更なし</p>
<p>④鉄道の利便性の向上のための要請と利用促進 (1)ダイヤの改正や増便、利便性の向上に資する施設設備等の要請</p>	<p>○三重県鉄道網整備促進期成同盟会を通じ、要望書を提出</p> <ul style="list-style-type: none"> 提出先 東海旅客鉄道(株) 内容 <ul style="list-style-type: none"> ①利便性向上に向けた機能強化 (複線電化、バリアフリー化、行き違い設備の整備、ICカード利用可能エリアの拡大等) ②利便性に考慮したダイヤ編成の確保 (増便や乗継時間の改善) ③無人駅において、列車の運行情報等が迅速に提供される体制やしくみの整備等 ④ハイブリッド車両の導入 <p>○同会を通じ、東海旅客鉄道(株)との意見交換会を毎年実施</p>	<p>○平成29年度までの取組を継続 以下の内容を追加</p> <ul style="list-style-type: none"> 訪日外国人旅行者向け対応強化 イベント列車の運行や「さわやかウォーキング」などの地域と連携したイベントの企画や参画など、利用促進に対する協力
<p>④鉄道の利便性の向上のための要請と利用促進 (2)リニア中央新幹線の三重・奈良ルートによる早期の全線同時開業の要請等</p>	<p>○リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会を通じ、要望書を提出</p> <ul style="list-style-type: none"> 提出先 東海旅客鉄道(株)、国土交通省、地元選出国會議員 内容 <ul style="list-style-type: none"> ①名古屋・大阪間のルートは、三重・奈良ルートとし、県内の停車駅は整備効果を県内全域に波及できる場所とすること。 ②三重県内の概略ルート及び停車駅の概略位置を、早期に公表すること。 ③技術開発等によるコストダウンに努めるとともに、一日も早い全線開業のための方策を検討すること。 ④関係者による対話の機会を定期的に設けるなど、緊密な協力関係の構築に努めること。 <p>○同会を通じ、要望活動を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 要望先 東海旅客鉄道(株)、内閣総理大臣、国會議員、国土交通省、国土交通大臣政務次官、リニア中央新幹線建設促進期成同盟会 内容 要望書と同様 	<p>○平成29年度までの取組を継続</p> <p>○三重・奈良・大阪リニア中央新幹線建設促進大会 目的：リニア中央新幹線(名古屋以西)の一日も早い着工及び全線開業の実現 主催：リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会、リニア中央新幹線建設促進奈良県期成同盟会、リニア中央新幹線早期全線開業実現協議会、リニア中央新幹線建設促進三重県・奈良県経済団体連合協議会 大会：2回(平成29年9月、平成30年12月)</p>

【目標1-2】日常生活における地域移動を確保する

事業・施策	平成29年度までの取組状況	平成30年度からの取組状況																								
①三重交通バス路線の整備と運行 (1)大型商業施設、公共施設への乗り入れ(再掲)	省略	省略																								
①三重交通バス路線の整備と運行 (2)バスロケーションシステムの導入(携帯電話型)(再掲)	省略																									
①三重交通バス路線の整備と運行 (3)利用者のニーズに合ったダイヤの提案	<ul style="list-style-type: none"> ニーズの把握方法 <ul style="list-style-type: none"> ①利用者からのメールや電話、②乗降調査、③乗務員からの聞き取り 反映方法 <ul style="list-style-type: none"> 4月1日のダイヤ改正に反映 	○平成29年度までの取組を継続																								
①三重交通バス路線の整備と運行 (4)幹線、津市コミュニティバスとの連携	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道との接続を重視している。 	変更なし																								
②津市自主運行バス(廃止代替バス)の見直しへの着手 (H27~H29) 継続運行のあり方について検討 (H30~H31) 検討した施策の実施	<p>○運行実績(平成27年10月~平成28年9月)</p> <table border="1" data-bbox="474 955 1335 1239"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用者数(人)</th> <th>一人当たり運行経費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三行線</td> <td>20,177</td> <td>845</td> </tr> <tr> <td>津新町大里線</td> <td>37,525</td> <td>477</td> </tr> <tr> <td>安濃線</td> <td>15,990</td> <td>737</td> </tr> <tr> <td>多気線</td> <td>21,080</td> <td>1,020</td> </tr> <tr> <td>亀山棕本線</td> <td>10,527</td> <td>611</td> </tr> <tr> <td>名張奥津線</td> <td>544</td> <td>9,014</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>105,843</td> <td>752</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実情に合わせた運行変更の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 安濃線(立合系統) 利用者の無い便を減便(平成29年4月) 多気線 久居駅での波瀬線との接続に合わせたダイヤ変更(平成29年4月) 名張奥津線 伊勢奥津駅でのJR名松線及びコミュニティバスとの接続に合わせたダイヤ変更(平成29年4月) 津新町大里線 「サオリーナ前」停留所の新設及びルート延伸(平成29年10月) 		利用者数(人)	一人当たり運行経費(円)	三行線	20,177	845	津新町大里線	37,525	477	安濃線	15,990	737	多気線	21,080	1,020	亀山棕本線	10,527	611	名張奥津線	544	9,014	合計	105,843	752	<p>○一人あたり運行経費が高額である路線について、コミュニティバスとしての運行の検討に着手した。</p> <p>○実情に合わせた運行変更の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 津新町大里線 道路の渋滞状況に合わせたダイヤ変更(平成30年4月)
	利用者数(人)	一人当たり運行経費(円)																								
三行線	20,177	845																								
津新町大里線	37,525	477																								
安濃線	15,990	737																								
多気線	21,080	1,020																								
亀山棕本線	10,527	611																								
名張奥津線	544	9,014																								
合計	105,843	752																								

<p>③津市コミュニティバスの整備と運行</p>	<p>○河芸地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「道の駅津かわげ」停留所の新設及びルート延伸（平成28年4月） ・停留所名称の変更「プライスカット南」▶「スーパーセンターオークワ南」（平成29年9月） <p>○美里地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いなば園前」停留所の新設（平成28年4月） ・美里園児バスルートの廃止（平成29年4月） <p>○安濃地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「F前野橋」停留所の新設（平成28年10月） <p>○一志地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近鉄川合高岡駅での接続に合わせたダイヤ変更（平成28年10月） <p>○白山地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生の通学に対応したダイヤの変更（平成28年4月） ・白山高校への通学利用者増加に伴う、車両の大型化（平成28年7月） <p>○美杉地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「エコーブJAみすぎ店前」停留所の新設及びルート延伸（平成28年4月） ・「三多気集会所」停留所の新設及びルート延伸（平成28年4月） ・「伊勢鎌倉駅」停留所の新設（平成28年4月） ・観光客向けに土日祝日ダイヤを設定（平成28年7月） ・逢坂・飼坂ルートを延伸し、停留所15ヶ所を新設（平成29年4月） ・停留所名称の変更「奥津交差点」▶「津市家庭医療クリニック北」、「八幡出張所前」▶「伊勢奥津駅前」（平成30年5月） ・御杖村地内に停留所2ヶ所を新設（平成29年10月） 	<p>○久居地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・停留所名称の変更「七栗サナトリウム前」▶「七栗記念病院前」（平成30年4月） ・「プライスカット久居元町店」停留所の新設（平成30年10月） <p>○河芸地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「スーパーセンターオークワ南」停留所の廃止（平成30年8月） ・近鉄千里駅及び豊津上野駅での接続に合わせたダイヤ変更（平成30年10月） <p>○芸濃地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「林南」停留所の新設（平成30年10月） ・「椋本新町東」、「西部ヶ丘」停留所の新設及びルート変更（平成30年10月） ・「中瀬古」停留所の移設「平成30年10月」 <p>○美里地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「稲葉ふれあい会館」停留所の新設（平成30年4月） <p>○一志地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近鉄川合高岡駅での接続に合わせたダイヤ変更（平成30年4月） <p>○白山地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白山高校通学利用者に対応した運行変更（平成30年4月） ・美杉地域コミュニティバスとの接続に合わせたダイヤ変更（平成30年4月） ・近鉄榊原温泉口駅での接続に合わせたダイヤ変更（平成30年4月） ・運行効率改善のための順路変更（平成30年4月） ・運行実態に則したダイヤ変更（平成30年4月） ・商業施設の営業時間変更に対応したダイヤ変更（平成30年4月） ・停留所名称の変更「倭出張所前」▶「倭駐在所前」
--------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【目標1-3】観光振興との連携による交流人口の拡大

事業・施策	平成29年度までの取組状況	平成30年度からの取組状況
①公共交通を利用した観光振興への取組 (1)観光地へのアクセスのための公共交通網の整備充実	○津地域 ・津駅から津なぎさまちへの路線バスを増便（平成29年4月） 【1日 8.5往復 ▶ 11.5往復】 ○美杉地域 ・名松線に合わせた津市コミュニティバスのダイヤ変更（平成28年4月） ・津市コミュニティバスに土日祝日ダイヤを設定（平成28年7月）	変更なし
①公共交通を利用した観光振興への取組 (2)市内・市外の観光地との交通ネットワークの充実、強化	○津エアポートライン ・平成28年度の利用者数が、過去8年間で最大に（松阪航路の休止や伊勢志摩サミットの影響と推測） ○神宮リムジンバス（三重交通） ・津なぎさまち→伊勢市駅前→外宮→内宮を1時間半で結ぶバス路線を新設（平成28年3月） ・鳥羽までルート延伸（平成29年10月） 【片道料金】 ・津なぎさまち⇄伊勢市駅前・外宮前・内宮前 1,500円（高速船とセットで3,200円） ・津なぎさまち⇄鳥羽バスセンター 1,900円（高速船とセットで3,500円）	○平成29年度までの取組を継続 ○津エアポートライン ・平成29年度の利用者数が、平成28年度の利用者数を上回った
①公共交通を利用した観光振興への取組 (3)観光客のニーズに応じた観光ルートや周遊手段などの観光商品づくり		○高田本山専修寺（御影堂、如来道）が国宝指定（建造物としては三重県初） ・平成30年度は文化振興課主催のウォーキングイベントが開催された。
①公共交通を利用した観光振興への取組 (4)ウォーキングイベント等を絡めた観光ルートの有効活用	○まん中ウォーク（近鉄と提携） ・内容 津駅から中心市街地を經由し、津新町駅まで歩くツアー ・開催 年2回 ○さわやかウォーキング（JRと提携） ・内容 JR阿漕駅から中心市街地を經由し、JR津駅まで歩くツアー（平成29年） ・開催 年1回	○近鉄ハイキング ・市内近鉄駅を起終点とするハイキング（平成30年度は13回開催） ・うち2回は市が実施する「まん中ウォーク」 ○さわやかウォーキング ・平成30年度は一身田を散策 ・2019年5月25日には伊勢奥津駅からのウォークが開催される予定

<p>②海上アクセス利用促進事業 (1)情報発信等PR事業の推進</p>	<p>○ポスター・パンフレットによるPR ・交通アクセス案内チラシ 中部国際空港アクセスプラザ、空港島旅客船ターミナル、津なぎさまち内旅客ターミナルに設置</p> <p>○観光協会等と連携したPR ・中部国際空港主要就航先でのPR活動【主催：中部国際空港利用促進協議会】 ベビースターラーメンやチラシ等をセットにした利用促進グッズの配布、イベントステージでのクイズ出題など ①北海道札幌市（平成27年5月23日～24日、平成28年6月25日～26日） ②福岡県福岡市（平成28年2月27日～28日、平成29年2月25日～26日） ・中部国際空港主要就航先でのPR活動【主催：イオン北海道株式会社】 ベビースターラーメンやチラシ等をセットにした利用促進グッズの配布、イベントステージでのクイズ出題など 北海道札幌市（平成29年6月23日～25日） ・高速船就航先でのPR活動【主催：常滑焼きまつり実行委員会、連携：津市観光協会、津市商業振興労政課】 ベビースターラーメンや観光案内マップをセットにした利用促進グッズの配布 愛知県常滑市（平成27年8月23日～24日、平成28年8月20日～21日、平成29年10月14日～15日）</p>	<p>○観光協会等と連携したPR ・中部国際空港でのPR活動【主催：三重県、連携：津市観光協会】 ベビースターラーメンや観光案内マップをセットにした利用促進グッズの配布 愛知県常滑市（平成30年4月15日） ・高速船就航先でのPR活動【主催：常滑焼きまつり実行委員会、連携：津市観光協会、津市商業振興労政課】 ベビースターラーメンや観光案内マップをセットにした利用促進グッズの配布 愛知県常滑市（平成30年10月13日～14日）</p>
<p>②海上アクセス利用促進事業 (2)県外からの利用者の増加</p>	<p>○みなとオアシスと連携した地域間交流の推進 ・津ぎょうざの販売、チラシの設置 ①四日市市（平成27年8月2日） ②岩手県宮古市（平成27年9月19日～20日） ③岡山県玉野市（平成28年7月23日～24日） ④富山県魚津市（平成29年10月14日～15日）</p> <p>○津ぎょうざの販売、利用促進グッズ（ベビースターラーメン等）の配布 ①鳥羽市（平成27年10月31日～11月1日） ②愛知県知多市（平成27年5月24日、平成28年6月5日、平成29年5月28日） ③愛知県蒲郡市（平成28年7月30日～31日、10月1日～2日）</p> <p>○利用促進グッズ（ベビースターラーメン等）の配布 ①鳥羽市（平成29年2月17日） ②志摩市（平成29年2月28日）</p>	<p>○津ぎょうざの販売、利用促進グッズ（ベビースターラーメン等）の配布 愛知県知多市（平成30年5月20日）</p> <p>○利用促進グッズ（ベビースターラーメン等）の配布 志摩市（平成30年6月2日）</p>

②海上アクセス利用促進事業
(3)津なぎさまちイメージアップ事業実行委員会や地元自治会等と連携したイベント等の実施

- 津花火大会時における賑わい創出事業
 - ・内容 夜店の出店及び津花火大会観覧者の警備
 - ・実施日 平成27年7月25日、平成28年7月30日、平成29年7月29日
- 津なぎさまちフェスタ
 - ・内容 オープニングセレモニー（中学生による吹奏楽、ステージイベント、展示・体験コーナー、飲食ブース、ゲームコーナー、物産販売、映画の看板職人展など
 - ・実施日 平成27年7月26日 来場者数約 3,500人、
平成28年7月31日 来場者数約 4,000人、
平成29年7月30日 来場者数約 8,000人
- SEA LINK
 - ・内容 クラシックカー展示、クラシックカーカフェ、フリーマーケット、各種出展ブース（飲食、体験）、バブル体験、ワンちゃん散歩、釣り体験など
 - ・実施日及び来場者数 平成28年10月2日 来場者数 約1,000人、
平成28年11月6日 来場者数 約500人、
平成29年3月5日 来場者数 約1,000人、
平成29年4月2日 来場者数 約800人、
平成29年5月7日 来場者数 約700人、
平成29年6月4日 来場者数 約1,200人、
平成29年7月2日 来場者数 約500人、
平成29年9月3日 来場者数 約600人、
平成29年10月1日 来場者数 約600人、
平成29年11月5日 来場者数 約600人、
平成30年3月4日 来場者数 約700人
- 津のまん中ウォーク（近鉄ハイキング）
 - ・内容 賛岐自治会による無料ふるまい鍋
 - ・実施日及び参加者数 平成27年11月23日 参加者数 389人、
平成28年11月23日 参加者数 312人、
平成29年11月23日 参加者数 183人
- 冬のイルミネーション装飾
 - ・内容 ①旅客船ターミナル入口にイルミネーション装飾
②旅客船ターミナル待合室にペットボトルエコツリーを設置
 - ・実施日 平成27年12月1日～平成28年1月31日、
平成28年12月1日～平成29年1月31日、
平成29年12月1日～平成30年1月31日
- クリスマスワークショップ
 - ・内容 各種手作り体験（ジェルクラフト、デコスイーツなど）
 - ・実施日 平成28年12月23日～平成28年12月29日
平成29年12月23日～平成29年12月29日
- 季節の花々展示
 - ・内容 津なぎさまち地内に季節の花々を展示
 - ・実施日 平成27年10月5日～平成27年12月11日、
平成27年12月14日～平成28年3月22日、
平成28年10月3日～平成28年12月9日、

- 津花火大会時における賑わい創出事業
 - ・実施日 平成30年7月15日
- 津なぎさまちフェスタ
 - ・実施日 平成30年7月16日 来場者数約 5,000人
- SEA LINK
 - ・実施日及び来場者数 平成30年4月1日 来場者数 約600人、
平成30年5月7日 来場者数 約700人、
平成30年6月4日 来場者数 約800人、
平成30年7月1日 来場者数 約500人、
平成30年11月4日 来場者数 約300人、
平成31年3月3日 来場者数 約50人（雨により途中で中止）
- 津のまん中ウォーク（近鉄ハイキング）
 - ・実施日及び参加者数 平成30年11月23日 参加者数 278人
- 冬のイルミネーション装飾
 - ・実施日 平成30年12月1日～平成31年1月31日
- クリスマスワークショップ
 - ・実施日 平成30年12月23日～平成30年12月29日
- 季節の花々展示
 - ・実施日 平成31年1月11日～平成31年3月22日

平成28年12月12日～平成29年3月24日、
平成30年1月12日～平成30年3月23日

- 施設見学の受け入れ
 - ・内容 施設見学、エコバック及びペーパークラフトの配布
 - ・実績 平成28年度 7校 526名
平成29年度 1校 9名
- その他
 - ・利用促進ポスターの作成 30枚（平成27年度）
 - ・利用促進グッズ（ペーパークラフト）の作成 1,000枚（平成27年度）
500枚（平成28年度）
1,000枚（平成29年度）
 - ・子ども向けパンフレットの作成 1,000枚（平成27年度）
 - ・利用促進グッズ（エコバック）の作成 850部（平成28年度）

- 施設見学の受け入れ
 - ・実績 平成30年度 6校 260名
- その他
 - ・利用促進グッズ（ペーパークラフト）の作成 1,000枚（平成30年度）

③JR名松線活用事業
(1)JR名松線沿線地域の
魅力発信

- 沿線イベントの実施（ウォーク等）
 - ・いいところ発見事業（ボランティアガイドによる名所案内）
 - ①美杉地域 平成28年9月、11月、12月、平成29年4月、11月
 - ②一志地域 平成28年10月、平成29年6月、10月
 - ③白山地域 平成28年11月、平成29年4月、11月
 - ・名松線で行く宿題解決プラン
 - ①木工教室 平成29年7月30日、8月26日
 - ②歴史教室 平成29年8月6日
 - ③親子キャンプ 平成29年8月13～14日
 - ・自然満喫プラン（キャンプ） 平成29年8月13日～14日
- ポスター、パンフレットによるPR
 - ・一周年記念事業ポスターの作製、掲示
部数 25部
掲示場所 JR名古屋駅、JR大阪駅、JR津駅、JR松阪駅、市役所等
 - ・イメージポスター、カレンダーの作成、掲示
部数 各200部
掲示場所 関係機関各所
 - ・四季のポスターの作製（三重県鉄道網整備促進期成同盟会名松線部会）400枚（100枚×4季）
- 県・松阪市とともに設立した協議会事業の実施
目標1-1 施策4参照
- 観光協会等と連携したPR
津駅前観光案内所、松阪市観光情報センターにチラシを設置
- 総合支所等関係部局と連携した事業の実施・PR
 - ・ゴールデンウィークや夏・秋の観光シーズンに伊勢奥津駅と北畠神社を結ぶ無料臨時バスを運

- 沿線イベントの実施（ウォーク等）
 - ・いいところ発見事業
 - ①美杉地域 平成30年4月、8月
 - ②一志地域 平成30年4月、10月
 - ③白山地域 平成30年5月、11月
 - ・名松線で行く！宿題解決と自然満喫プラン
 - ①施設見学・アマゴつかみ・木工体験・キャンプ 平成30年7月27～28日
 - ②紙すき体験 平成30年8月12日
- 県・松阪市とともに設立した協議会事業の実施
平成29年度までの取組を継続
- 観光協会と連携したPR
平成29年度までの取組を継続
- 総合支所等関係部局と連携した事業の実施・PR
平成29年度までの取組を継続
 - ・春の満喫ツアー

行

- ・三多気さくら祭りでの三重交通路線バスの増便
- ・アサギマダラ鑑賞会に合わせ、伊勢奥津駅と太郎生地区を結ぶ無料臨時バスを運行
- ・名松線利用者に対するアンケート調査（平成28年度）
- ・無料レンタサイクル（美杉総合支所、道の駅美杉、伊勢奥津駅）
- ・小学生による作品展（アスト津）
- ・乗ってお得名松線沿線おもてなし巡り加盟店発足
- ・弁当レシビコンテスト（久居農林高校）→一般解禁
- ・俳句・絵葉書コンテスト（平成29年度）
- ・各地でのPR（チラシの設置、写真パネルの展示など）
三重テラス（東京）、なぎさまちフェスタ、つデイ（東京）、こんなにあるんだ三重の鉄道展（H28 東員）、金山総合駅（名古屋）、高虎楽座、武四郎まつり（松阪）

○名松線利用促進を実施する団体等に対する支援

- ・津市名松線沿線の魅力づくり事業補助金（事業費の2分の1）
（平成28年度）NPO法人コルチカムの里（音楽祭、ウエルカム人形の作成）、
名松線を元気にする会（利用促進グッズ作成）、
八知地区活性化協議会（復旧1周年記念イベント）、
Jazz Band HAKUSAN（ジャズコンサート、伊勢街道散策ツ

アー）

- （平成29年度）WOOD JOB！神去村青年団（美杉なあなまつり）、
名松線を元気にする会（ボンネットバスの運行）、
八知地区活性化協議会（復旧2周年イベント）

・秋の美杉スポーツプラン

- ・各地でのPR（こんなにあるんだ三重の鉄道展は四日市、F1グランプリ（鈴鹿）、津市美杉町フェア「おこしなして」（イオンモール津南））

○名松線利用促進を実施する団体等に対する支援

- ・津市名松線沿線の魅力づくり事業補助金（事業費の2分の1）
（平成30年度）WOOD JOB！神去村青年団（美杉なあなまつり）、
名松線を元気にする会（伊勢本街道奥津宿の陣2018）、
八知地区活性化協議会（復旧3周年イベント）
竹原地域（美杉竹原・ちどりの里15周年感謝祭）

基本方針2：地域の特性に応じた利便性の高いコミュニティ交通の実現

【目標2-1】交通不便地における移動手段を確保する

事業・施策	平成29年度までの取組状況	平成30年度からの取組状況
<p>①地域住民運営主体型コミュニティ交通事業の推進 (1)地域住民運営主体型のデマンド型交通等、新たな形態の公共交通の導入の検討</p>	<p>○平成25年度から本格運行している、高松山団地乗合ワゴンへの継続した支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行委託料 (平成27年度) 89,600円 (平成28年度) 105,600円 ・補助金 (平成27年度) 53,000円 (平成28年度) 64,000円 <p>・運賃収入【1乗車300円/人】 (平成27年度) 18,300円(61人) (平成28年度) 20,100円(67人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元負担金 (平成27年度) 18,300円 (平成28年度) 21,500円 <p>○平成28年3月から、新たに、白山町の二俣地区、上佐田地区において、乗合タクシーの運行を開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行委託料(平成28年度) 二俣地区 88,060円 上佐田地区 35,100円 ・補助金(平成28年度) 二俣地区 52,000円 上佐田地区 18,000円 <p>・運賃収入【1乗車300円/人】(平成28年度) 二俣地区 18,300円(61人) 上佐田地区 10,800円(36人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元負担金(平成28年度) 二俣地区 17,760円 上佐田地区 6,300円 <p>○地域住民運営主体型コミュニティ交通事業の新規導入を促進するため、広報津及び津市ホームページでPRを行うとともに、地域公共交通あり方検討会等において同事業の紹介を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PR開始日 平成28年4月～ ・相談件数(地域) 6件 ・実施件数(地域) 3件 広報津 : 平成28年4月1日号 ホームページ: 掲載中 <p>○津市地域公共交通活性化協議会委員による、伊賀市の比自岐コスモス号の視察研修を行ったほか、事務局において、他市におけるデマンド型交通等の事例の研究を行うなど、新たな形態の公共交通の導入についての検討を行った。</p>	<p>○地域住民運営主体型コミュニティ交通への支援 (平成29年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行委託料 高松山団地 105,600円 二俣地区 12,950円 上佐田地区 31,070円 ・補助金 高松山団地 63,000円 二俣地区 7,000円 上佐田地区 18,000円 <p>・運賃収入【1乗車300円/人】 高松山団地 20,700円 二俣地区 2,700円 上佐田地区 6,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元負担金 高松山団地 21,900円 二俣地区 3,250円 上佐田地区 7,070円 <p>○津市地域公共交通活性化協議会において、玉城町(デマンド型交通「元気バス」)への視察を実施 (平成30年11月)</p>

【目標2-2】地域を越えた移動手段を確保する

事業・施策	平成29年度までの取組状況	平成30年度からの取組状況
<p>①津市コミュニティバスの整備と運行（再掲） (1)地域をつなぐ路線の検討</p>	<p>○市内8地域、全24ルートのコミュニティバスの運行を行った。</p> <p>○利用者や、地域からの要望などをもとに、必要に応じて、ルートの延伸や、停留所の新設、移転、ダイヤの改正等を行った。</p> <p>○地域をつなぐコミュニティバス同士のダイヤ設定を行った。</p> <p>【接続している路線】</p> <p>(美里地域から久居駅方面)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美里地域 長野・高宮ルート（往路） 【着】湯の瀬 ・久居地域 稲葉ルート（往路） 【発】湯の瀬 <p>(美杉地域から榊原温泉口方面)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美杉地域 川上ルート（往路） 【着】一志病院 ・美杉地域 丹生俣ルート（往路） 【着】一志病院 ・白山地域 城立・福田山ルート 【発】一志病院 <p>(榊原温泉口方面から美杉地域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白山地域 家城ルート 【着】一志病院 ・美杉地域 川上ルート（復路） 【発】一志病院 ・美杉地域 丹生俣ルート（復路） 【発】一志病院 <p>【検討課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湯の瀬に停車する路線は運行本数が少なく、復路の接続ができていない。 ・接続を重視すると、地域内での移動や鉄道との接続に支障をきたす可能性がある ・三重交通バスや鉄道が利用可能な地域であれば、無理をしてコミュニティバス同士を接続する必要は無い 	<p>変更なし</p>
<p>①津市コミュニティバスの整備と運行（再掲） (2)地域をつなぐ路線の設置</p>	<p>○平成29年度途中からの設置に向けての協議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美杉地域から奈良県御杖村 美杉地域 逢坂・飼坂ルート（往復） ・伊勢奥津駅前～御杖村村内～太郎生地域（平成29年10月1日から、御杖村地内に「敷津」及び「小屋」の2か所の停留所を設置） 	<p>○地域（市内の旧行政界）にとらわれない路線について、事務局にてたたき台を作成中。</p>
<p>②乗継環境の整備 (1)地域をつなぐコミュニティバス同士のダイヤ設定</p>	<p>○運行変更の際し、地域をつなぐコミュニティバス同士のダイヤ設定に努めた。</p>	<p>変更なし</p>
<p>②乗継環境の整備 (2)待合環境の整備</p>	<p>○乗継拠点については、利用者の利便性に配慮し、鉄道駅、総合支所、スーパー、病院など、既存の施設への設定に努めた。</p> <p>○復旧後のJR名松線が利用しやすいよう、パークアンドライドの整備や、無料のレンタサイクル事業を実施した。</p>	<p>変更なし</p>

基本方針3：公共交通サービスをサポートし、利用促進につながる交通体系の実現

【目標3-1】公共交通に対する市民意識の向上を図る

事業・施策	平成29年度までの取組状況	平成30年度からの取組状況
<p>①広報誌による意識啓発・利用促進PR (1)市広報誌等での意識啓発PR</p>	<p>○広報津 (9月20日はバスの日) ・掲載日 平成27年9月1日号、平成28年9月16日号、平成29年9月1日号 (シルバーエミカのPR) ・掲載日 平成29年5月1日号</p> <p>○その他 ・時事の情報については、定例記者会見でも発表している。</p>	<p>○広報津 (バスの利用促進) (バスの日) ・掲載日 平成30年5月16日号 (バスの日) ・掲載日 平成30年9月1日号 (シルバーエミカのPR) ・掲載日 平成30年6月1日、平成30年9月16日号</p>
<p>②わかりやすい路線・時刻表情報の提供 (1)公共交通の運行路線・時刻表等の「見える化」の推進</p>	<p>○三重交通 ・開始時期 平成23年6月(ナビタイム) 平成27年1月(ヴァル研究所、ジョルダン、駅探)</p> <p>○津市コミュニティバス ・開始時期 平成28年3月(ジョルダン、ナビタイム)</p>	<p>変更なし</p>
<p>③モビリティマネジメントの実施 (1)モビリティマネジメントの実施</p>	<p>○Web上での実施 ・津市ホームページ上で利用可能なシステムを作成した。 ・運用開始 平成29年4月～ ・周知方法 市職員を対象とした掲示板への掲載、スーパー等へのチラシの設置 ・その他 インターネット環境に無い方を対象に、紙を用いたアンケート形式での実施も準備している。</p>	<p>○平成29年度までの取組を継続</p>
<p>④利用促進イベントの実施 (1)利用促進イベントの実施</p>	<p>○バスの乗り方教室 ・実施日 平成27年11月5日、平成28年10月23日、平成29年10月19日 ・内容 小学生を対象としたバスの乗り方教室</p> <p>○津まつりでのブース出展 ・実施日 平成27年10月11日、平成28年10月9日、平成29年10月8日 ・内容 お絵かきバス、バスの車内見学、バス運転士の制服試着</p> <p>○バスの日の津駅前街頭啓発 ・実施日 平成27年9月18日、平成28年9月20日、平成29年9月20日 ・内容 利用促進グッズの配布</p> <p>○みえ交通安全・環境フェスタ ・実施日 平成27年9月19日、平成28年9月24日、平成29年9月30日(中止) ・内容 お絵かきバス、バス運転士の制服試着、利用促進グッズの配布</p> <p>○こんなにあるんだ三重の鉄道展 ・実施日 平成29年1月28日、平成29年9月17日 ・内容 クイズラリー、PRブース、運転シュミレーター体験など</p>	<p>○バスの乗り方教室 ・実施日 平成30年11月8日</p> <p>○津まつりでのブース出展 ・実施日 平成30年10月7日</p> <p>○バスの日の津駅前街頭啓発 ・実施日 平成30年9月20日</p> <p>○みえ交通安全・環境フェスタ ・実施日 平成30年9月29日</p> <p>○こんなにあるんだ三重の鉄道展 ・実施日 平成30年10月21日</p>

<p>バスロケーションシステムの導入（携帯電話型）（再掲）</p>	<p>○三重交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開始時期 平成27年6月1日（津、鈴鹿、亀山地域） ・利用状況 年間約300万件（四日市、津、鈴鹿、亀山地域の合計） 	
<p>利用者のニーズに合ったダイヤの提案（再掲）</p>	<p>○三重交通</p> <p>メール、電話、乗降調査、乗務員からの聞き取りによりニーズを把握し、4月1日のダイヤ改正に反映させている。</p>	<p>○平成29年度までの取組を継続</p>
<p>・低床バスの導入継続</p>	<p>○三重交通（中勢営業所管内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総車両数 150台 ・移動円滑化基準適用除外車両数 45台 ・移動円滑化基準適用対象車両数 105台 ・移動円滑化基準適合車両数 105台（70.0%） うち、ノンステップバス 45台（30.0%） <p>○津市コミュニティバス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総車両数 9台 ・ワゴン車 4台 ・低床車両 3台 ・リフト付き車両 1台 	<p>○三重交通（中勢営業所管内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総車両数 144台 ・移動円滑化基準適用除外車両数 2台 ・移動円滑化基準適用対象車両数 142台 ・移動円滑化基準適合車両数 114台（79.2%） うち、ノンステップバス 55台（%） <p>○津市コミュニティバス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総車両数 9台 ・ワゴン車 4台 ・低床車両 3台 ・リフト付き車両 1台
<p>・ICカードシステムの導入検討</p>	<p>○三重交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運用開始 平成27年4月1日 ・カードの名称 emica（エミカ） ・発行枚数 約3万枚 ・利用者の割合 24%（平成28年度） ・特典 利用額に応じてポイントが付与される 乗り継ぎ割引が適用される 	<p>○津市高齢者外出支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運用開始 平成29年9月25日 ・カードの名称 シルバーエミカ ・発行枚数 7,511枚（平成30年11月末時点） ・利用状況 月3,000件程度 ・特典 デPOSITなし 年間最大2,000ポイントを市が付与
<p>・セーフティバスのPR活動</p>	<p>○三重交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会などでのチラシの配布 ・警察署にもチラシを設置 	<p>○平成29年度までの取組を継続</p>

【目標3-2】高齢者の外出意欲の増進

事業・施策	平成29年度までの取組状況	平成30年度からの取組状況
①高齢者に特化した割引制度や設備等の検討 (1)高齢者に特化した割引制度等の検討	○津市高齢者外出支援事業 ・運用開始 平成29年9月25日 ・カードの名称 シルバーエミカ ・特典 デPOSITなし、年間最大2,000ポイントを市が付与	
①高齢者に特化した割引制度や設備等の検討 (2)低床バスの導入継続(再掲)	省略	省略
①高齢者に特化した割引制度や設備等の検討 (3)セーフティバスのPR活動(再掲)	○三重交通 ・自治会などでのチラシの配布 ・警察署にもチラシを設置	○平成29年度までの取組を継続

基本方針4：持続可能な交通サービスが提供できる交通体系の実現とPDCAサイクルの確立

【目標4-1】市民や関係者が目標の共有を図る

事業・施策	平成29年度までの取組状況	平成30年度からの取組状況
①PDCAサイクル確立のための基準づくり (1)PDCAサイクル確立のための基準づくり	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度に地域公共交通網評価分科会を設置し、数値目標の達成状況及び施策の実施状況を点数化して総合評価（津市地域公共交通網形成計画中間評価シートを活用） 	
②中間年度・最終年度における評価指標の達成度評価（ニーズ調査） (1)中間年度・最終年度における評価指標の達成度評価（ニーズ調査）	<ul style="list-style-type: none"> 実施時期 平成29年7月の平日1日の午前中 調査方法 バス利用者に対してアンケートを手渡し、郵送にて回収 調査対象者 三重交通運行路線バス及び津市コミュニティバスの利用者 調査内容 性別、年齢、居住地域、職業、世帯構成、運転免許の有無、自動車の所有状況、バスの満足度（15項目）、主な外出について目的ごとの交通手段・頻度・目的地、その他自由記述 	<ul style="list-style-type: none"> 実施時期 平成31年2月 調査方法 アンケート用紙を郵送し、郵送にて回収 調査対象者 市内を63地区に分類し、各地区から60歳以上の方50名を無作為抽出 調査内容 性別、年齢、運転免許の有無、自動車の有無、外出先（店、医療機関、その他）、外出頻度、外出時間帯、交通手段、公共交通を利用しない理由、デマンド交通の利用意思、その他自由記述
③改善案の策定と路線の運行体系の見直し (1)改善案の策定と路線の運行体系の見直し		○地域（市内の旧行政界）にとられないコミュニティバス路線について、事務局にてたたき台を作成中。

基本方針5：市民、交通事業者、行政の協働による仕組みづくり

【目標5-1】交通を担う人材を確保し育てる

事業・施策	平成29年度までの取組状況	平成30年度からの取組状況
①地域公共交通あり方検討会の開催 (1)改善策の検討や新しいコミュニティ交通の検討	○地域住民等が主体となった検討会等の開催数 平成27年度(29回)、平成28年度(25回)、平成29年度(回) 【内訳】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通あり方検討会の開催 平成27年度(5回)、平成28年度(4回)、平成29年度(12回) ・地域住民運営主体型コミュニティ交通事業運営委員会 平成27年度(18回)、平成28年度(6回)、平成29年度(4回) ・公共交通に係る市民団体との協議 平成27年度(3回)、平成28年度(3回)、平成29年度(3回) ・上記以外の自治会等との個別協議 平成27年度(3回)、平成28年度(12回)、平成29年度(11回) 	○地域住民等が主体となった検討会等の開催数 平成30年度(21回) 【内訳】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通あり方検討会の開催 平成30年度(6回) ・地域住民運営主体型コミュニティ交通事業運営委員会 平成30年度(4回) ・公共交通に係る市民団体との協議 平成30年度(5回) ・上記以外の自治会等との個別協議 平成30年度(6回)
①地域公共交通あり方検討会の開催 (2)検討された改善策の実施	・検討された検討策について、コミュニティバスの運行見直しにつなげることができた。	・検討された検討策について、コミュニティバスの運行見直しにつなげることができた。